評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

ı	事業所番号	3873600476
ı	法人名	有限会社 ファーストステップ
	事業所名	グループホームあおぞら
	所在地	愛媛県喜多郡内子町平岡甲1243番地1
	自己評価作成日	平成28 年11月18日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先

【評価機関概要(評価機関記入)】

利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟

62 な支援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

	評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地 松山市持田町三丁目8番15号		松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日 平成28年12月7日		平成28年12月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・ホームは利用者にとって慣れ親しんだ山や川に囲まれ、河川や公園に隣接しており、四季の移り変わりが楽しめる自然豊かな環境の中に立っている。又ホーム内のリビングの壁二面は窓が連続で配置され、外の景色がパノラマ状に見る事が出来、自然の光もよく入る。・職員は月に一度各テーマを自分で決め勉強会を行い、自己啓発やサービスの質の向上に努めている。・1日が気持ちよく始まり、気持ちよく終わる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は田園に囲まれ、自然を感じながら過ごせる場所に立地している。日当りのよいリビングからは、花火大会や大凧合戦の会場が間近に見え贅沢感が味わえる。勤続年数の長い職員が多く、代表や管理者、職員のコミュニケーションがとれ信頼関係が築かれている。職員は利用者に家庭的な環境のなか穏やかに楽しく過ごしてほしいと願い、家族と思って心から接し、利用者、職員とも笑顔が絶えない事業所となるよう取り組んでいる。開設12年を迎える事業所は、これから重度化が進むなか看取りも考慮しながら地域に根ざし、さらなるサービスの向上に努めていく方針である。

	項 目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目	取り組みの↓該当する項目に○印	成 果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の ○ 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と	<u> </u>
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 がある (参考項目:18,38)	O 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように ○ 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている(参考項目:4)	1. 大いに増えている 〇 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない	る
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした 表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員か ○ 2. 職員の2/3くらいか 3. 職員の1/3くらいか 4. ほとんどいない	 ያዩ
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 〇 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	1. ほぼ全ての利用者 ○ 2. 利用者の2/3くらし 3. 利用者の1/3くらし 4. ほとんどいない	ハが
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等 2. 家族等の2/3くらし 3. 家族等の1/3くらし 4. ほとんどできていた	ハが ハが
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟	1. ほぼ全ての利用者が				

2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I.理念に基づく運営
- Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 平成28年11月18日
- Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が 介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を 修正することはありません。
- ※用語について
- ●家族等=家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。 (他に「家族」に限定する項目がある)
- ●運営者=事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の 役職者(経営者と同義)。
- ●職 員=「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- ●チーム=一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。 関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、 事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価! ステップ 外部評価でブラッシュアップ!! ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名	グループホームあおぞら		
(ユニット名)	1F		
記入者(管理者)	Harris Ma		
氏 名	芦田 淳 ————————————————————————————————————		
評価完了日	平成28年 11 月 18 日		

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

<u> </u>							
自己 評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)			
T	理念	に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業 所理念をつくり、管理者と職員は、その理 念を共有して実践につなげている	(自己評価) 所長と奥様が作られた理念を理解し、日々のケアの中で理念も定着している。職員も勤続五年を超える方も多く実践に繋がる様に努めている。 (外部評価) 開設時に代表者夫婦が作成した理念を大切に継承しており、勤続年数の長い職員が多く、理念は浸透している。職員は利用者一人ひとりに寄り添いながら信頼関係を築き、穏やかに過ごしてもらえるよう支援に努めている。また別に個人目標を立てロッカーに貼り、意識向上に努めている。半年に一回目標の達成度の確認を行い、理念の共有を図りながら実践につなげている。				
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の文化行事 お祭りなど参加、日常的には交流できてはいないが顔なじみの関係を保つようにしている。 (外部評価) 事業所は自治会に入会し地域行事に参加して顔見知りになるよう努めており、今年は2年任期で班長を任されている。事業所周辺は散歩コースになっており、散歩時には地域の方と挨拶が交わされている。毎年、合同運動会に参加したり、行事の度に和太鼓の演奏が事業所を訪れるなど交流の機会を楽しめている。また近隣住民が事業所を気にかけてくれており、ミカンや柿の差し入れがあったりとここ数年地域とのつながりが強くなっていると実感している。				
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認 知症の人の理解や支援の方法を、地域の 人々に向けて活かしている	(自己評価) 町内のグループホーム共同主体で愛媛県在宅介護研修センターの先生による講演会を開催し、町内の民生委員様はじめ多数の近隣の方に出席して頂いている。今後も広く地域に啓発しながら地域ネットワーク作りにおいても活かしていきたい。				

	_	<u> </u>	1	平成29年2月14日
自己評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている		会議の出席者や内容がやや固定化していることを代表者も懸念していることから、これから地域住民への参加呼びかけや職員の参加を考慮しながら、会議内容がさらに深まりサービスの向上につながるよう期待したい。
5		○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 町担当者は運営推進会議にも参加し、事務所の現状を理解している。又利用者の生活福祉の支援上の課題等について相談したり研修のお知らせなどがあり、相互の協力関係築けている。介護相談員派遣事業の実地で、訪問活動も予定している。 (外部評価) 町職員は運営推進会議に参加し事業所の実情を把握できており、介護保険制度の改正時などは、わかりやすく説明してもらっている。更新や確認事項がある時はその都度担当職員と連携を取ったり、ヒヤリハットや事故報告が速やかに行われている。また介護相談員の訪問が年に2回あり、利用者の話しを聞いて職員に伝えてくれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束について職員間で勉強会をおこなっており意識の共有、毎月のカンファレンスで話合行い発生防止に努めている。 (外部評価) 職員は身体拘束の弊害について理解し、拘束をしないケアに努めている。年1回、内部研修のテーマとして取り上げ意識を高めている。ベッドから転落の危険がある利用者には布団に切り替えたりして、いかなる場合にも拘束はあってはならないと代表者は考え指導している。言葉による拘束にも留意し、気づいた時にはその都度注意をし合うようにして利用者の尊厳を損なわないよう努めている。	

<u>愛媛県あおぞら</u> 平成29年2月14日

_ 堂媛県あおぞら				
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業 所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員が利用するトイレの壁に行為の一覧を貼り普段から意識を持ち注意を払っている。疑問に思ったことは相談、報告し防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や 成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、それら を活用できるよう支援している	(自己評価) 職員間の勉強会にて議題にあげ学ぶ機会あり活用できるよう取り組んでいる。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用 者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な 説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約書を交わす際には、利用者や家族等と書類を基に時間 を掛けて十分納得して頂けるよう、説明に心掛けている。	
100	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職 員並びに外部者へ表せる機会を設け、それ らを運営に反映させている	(自己評価) 事務所に対する意見や要望は意見箱を玄関に設置したり、運営推進会議を通じて意見や思いを表せる場を設けている。又家族来訪時はお茶をお出しし気軽に会話しながら、会話の中から要望を聞き取るように心がけている。 (外部評価) 運営推進会議や面会時に意見や要望を聞いたり、遠方の家族にはイベント時の写真を郵送し、事業所の内容や利用者の状態を添えている。写真を見て喜ばれ、お礼の電話があることもある。雰囲気を察して代表者が、利用者と家族が直接電話で話せるよう配慮することもある。現在、事業所便りを検討中である。	

自己 外部平価 評価	項目	実践状況	**
11 7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意 見や提案を聞く機会を設け、反映させてい	(自己評価) 職員は日々の支援の中での気付きや思いをリーダーに話管理者や代表者に伝える。代表者や管理者は出された要望等に必ず返答行っている。年二回人事考課を行い、代表者は職員一人ひとりの意見を聞く機会を設けている。 (外部評価) 開設以来の職員が多数在籍しており働きやすい環境がうかがえる。際景は日常的に気づきの意見をます。これが第五	
	元や佐糸を闻く機士を取り、反映させている	がえる。職員は日常的に気づきや意見をミーティング等で 提案し話し合い、1人1発言を徹底しているなか、前向き な発言が多い。希望休を取るなど現在はモチベーションを 上げられるよう配慮し、年2回代表者が職員一人ひとりの 意見を聞く機会を設けている。	
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時 間、やりがいなど、各自が向上心を持って 働けるよう職場環境・条件の整備に努めて いる	(自己評価) 年二回(夏・冬)に人事考課を行い、職員と面談をして、 自己評価を行い、昇給、賞与等を決めている。	
13	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケア の実際と力量を把握し、法人内外の研修を 受ける機会の確保や、働きながらトレーニ ングしていくことを進めている	(自己評価) 職員の経験、知識等を考慮して、レベルにあった研修に参加している。	
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 町内のグループホーム連絡会にて月一回の管理者会を実施。又町内グループホーム合同の運動会や講演会、職員勉強会を実施し、サービスの質の向上にも取り組んでいる。	
Ⅱ.安	心と信頼に向けた関係づくりと支援		
15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が 困っていること、不安なこと、要望等に耳 を傾けながら、本人の安心を確保するため の関係づくりに努めている	(自己評価) 事前調査で書類を確認し、訪問し本人の言葉に耳を傾けるようにしている。不安や要望等、言葉の端々からも感じ取り、納得のいく話し合いが出来るよう心掛けている。	
	<u> </u>	6	

愛媛県あおぞら

平成29年2月14日

<u> </u>	<u> </u>	りんてら	·	<u> </u>
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等 が困っていること、不安なこと、要望等に 耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 家族の思い、願いを聞き安心して生活が始められるよう関係作りに努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と 家族等が「その時」まず必要としている支 援を見極め、他のサービス利用も含めた対 応に努めている	(自己評価) 職員間話し合い行い連携を図り情報の共有、どの支援がいいか決めて対応行っている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場にお かず、暮らしを共にする者同士の関係を築 いている	(自己評価) 職員は利用者と同じ目線にて一緒に生活するもの同士、お 互いが助け合う気持ちを大切にしている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場にお かず、本人と家族の絆を大切にしながら、 共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時には近況報告をし昔の様子も会話の中からくみ取り 家族と変わらない支援を心がけるよう努めている。	
20	8		(自己評価) 自宅への一時帰宅の支援や馴染の方の面会ある時は交流 図って頂き関係が途切れないよう支援に努めている。 (外部評価) 友人や知人の訪問があったり、手紙が届くこともある。家 族の支援で馴染みの喫茶店に行く利用者もいる。入居前と 同じようにプランターでの野菜作りでは肥料のアドバイス をもらったり、将棋やピアノの好きな利用者には馴染みが 継続できるよう支援している。	

<u>愛媛県あおぞら</u> 平成29年2月14日

夕炒	<u> 기자 (</u>	<u> </u>		平成29年2月14日
自己 評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが 孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え 合えるような支援に努めている	(自己評価) 気の合う利用者さんかどうか判断しテーブル席を配慮し利用者さん同士の関係を取り持つながら職員も一緒に関わり支援に努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これ までの関係性を大切にしながら、必要に応 じて本人・家族の経過をフォローし、相談 や支援に努めている	(自己評価) 終了後も訪問して頂けるよう声掛けをし、継続的に関わり が保てるよう心掛けている。又いつでも出来る限り相談に 乗りアドバイスが出来るよう心掛けている。	
Ш	[. そ	・ の人らしい暮らしを続けるためのケアマネジ	メント	Ante-
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向 の把握に努めている。困難な場合は、本人 本位に検討している	(自己評価) 一人ひとり話を聞き言葉だけでなく表情からもくみ取り思いを実現できるよう取り組んでいる。 (外部評価) 利用者との日常の関わりを大切にして思いを聞き取るよう努めている。帰宅顧望のある利用者には職員が寄り添い一緒に外に出たり、家族に連絡して会いに来てもらったりしている。要望でご飯の硬さの調節を行うこともある。言葉に表せない利用者には表情を見て感情の動きを知るよう努めている。利用者と1対1になる入浴時などに、不満など普段言えないことを聞ける時がある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、 生活環境、これまでのサービス利用の経過 等の把握に努めている	(自己評価) これまでの生活歴サマリー等いつも閲覧できるようにし職 員間情報の共有把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、 有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎日の生活のなかで変化などあればカンファレンスで話し合い行い全職員、現状の把握に努めている。	

<u>愛媛県あおぞら</u> 平成29年2月14日

愛见	发果?	あおぞら	平成29年2月14日	
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディ	(自己評価) カンファレンスの中でモニタリングから見直しあれば各職員気付いたことなど意見を出し合い、本人家族の思いも取り入れ検討し介護計画を作成している。 (外部評価) 家族面会時や電話で意向を確認し、本人と家族の要望を取	
		アを反映し、現状に即した介護計画を作成している	り入れながら、職員で話し合って介護計画を作成している。ピアノの好きな利用者には、「健康に過ごしたい」の計画の支援内容に「ピアノ演奏」が盛り込まれ毎日の日課になるなど、要望を反映した介護計画を確認することができる。 (自己評価)	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに活 かしている	各利用者24時間を通し一時間に一回以上の細かな記録を 取るようにし普段との変化を感じた時には他の職員もすぐ 気付ける様文字の色変えて記入するなど工夫し情報の共有 している。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 状況の変化があった時は職員会議で話し合い行いその人に 合ったサービス、支援にに向けて努めている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源 を把握し、本人が心身の力を発揮しながら 安全で豊かな暮らしを楽しむことができる よう支援している	(自己評価) 町内のグループホーム共同主体で愛媛県在宅介護研修センターの先生による講演会を開催し、町内の民生委員様はじめ多数の近隣の方に出席して頂いている。今後も広く地域に啓発しながら地域ネットワーク作りにおいても活かしていきたい。	

	_	<u> </u>		十成29年2月14日
自己評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30		○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 協力医療機関の先生による月2回の往診あるが異常時や希望時には家族さんに連絡とり同意を得て受診対応行っている。 (外部評価) 協力医をかかりつけ医とする利用者が多い。定期的な往診があり、異常時には速やかに受診できるよう安心した医療連携が取れている。その他にも歯科、眼科、皮膚科の往診ができる体制が整っている。総合病院の受診は職員が同行し家族には適切な報告がされている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 小さな事からもいつもと違うと変化の気付きを大切にし記 録に残し職員間で情報の共有、相談し看護師に報告受診対 応を検討している。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 病院の相談員さんや家族さんとの情報交換行い利用者さん の状態を理解している。	
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 「重度化した場合における対応に係る指針、看取りに関する指針」を作成しており本人、家族との話し合い説明を行っている。今まで看取りの経験は無いが、勉強会で取り上げ今後支援が出来るように取り組んでいる。 (外部評価) 看取り指針を定め、状態に応じ本人や家族の意向を確認しながら事業所ができること、できないことを明確にしながら医師を交え説明がされ、意向に沿うよう努めている。今後さらに勉強会を重ね看取りに取り組む姿勢であり、重度化を踏まえ職員の意識も高まっている。	

<u> </u>	<u> 友宗 (</u>	<u> </u>		<u> </u>
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全て の職員は応急手当や初期対応の訓練を定期 的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 普段から起こり得る急変や事故も考慮し職員全員が把握し 悩んだ時は相談協力しあえる体制作り行っている。救急救 命や応急手当については勉強会で取り上げたり各職員講習 受け実践力を身に付けている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問 わず利用者が避難できる方法を全職員が身 につけるとともに、地域との協力体制を築 いている	(自己評価) 消防署へ地震体験車の貸し出し依頼し実際に揺れを自分の身体で感じ何ができる、すべきことは何かを検討した。また、立地場所が河川沿いでもあり水害時の訓練も行い消防署の指導も受けている。 (外部評価) 年2回、うち1回は消防署立ち合いのもと日中と夜間想定の避難訓練を行っている。地震体験車の貸し出しを依頼し、実際に体感している。また2階からの避難方法については職員がモデルとなり、毛布を使用して階下に降りる等実践的な訓練を行うほか、水害も懸念されることから2階への避難訓練も行っている。備蓄品は3日分の用意はしているが増量に向けた検討を行う予定である。	
I	7. そ	・ の人らしい暮らしを続けるための日々の支持	· 爱	
	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 	(自己評価) 尊厳も常に意識し敬語を基本とした対応行っている。講師を招いて接遇の勉強会を行い、自分の言葉、行動の見直しを行った。 (外部評価) 利用者の尊厳を損なうことがないよう特に言葉づかいには気をつけている。職員は自分の親だったらと考え優しい気持ちで利用者に接している。トイレや入浴時には不快な思いをしないよう羞恥心への配慮を徹底しており、内部研修では接遇マナーの研修を行うことで職員の意識向上につなげている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表した り、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 各利用者に合わせた声掛けを行い意思表示が困難な方には 表情等からも思いをくみとり支援行っている。	

<u> </u>	<u> </u>	りんてら	•	<u> </u>
自己評価	外部 評価	評価		次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その 日をどのように過ごしたいか、希望にそっ て支援している	(自己評価) 一人ひとりのペースを大事にし気分や体調合わせ食事時間 ずらす等柔軟に対応している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができ るように支援している	(自己評価) 希望の理髪店に毛染めに行かれおしゃれを楽しまれている。二カ月に一度ホームに美容師の方に来て頂き希望される方はカットされている。洋服も選んで頂たり代行し買い物する際も本人や家族に好みを聞くようにしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者と職 員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 準備や片付けが一緒に出来る方はいないが野菜の仕分けなど一緒に見て旬の物を見、季節を感じ食への興味を持って頂く。又また職員同テーブルにて一緒に食事を摂りながらコミュニケーションを深め楽しい時間になるように努めている。 (外部評価) 食事前には口腔体操を行い、唾液の分泌をよくしたり、口の動きをよくして食事がスムーズにできるよう支援している。誕生日にはリクエストメニューにしたり、利用者が好まれる混ぜご飯を多く取り入れたり、状態に合わせ形状や調理法を工夫するなど食事が楽しめるよう配慮されている。調査当日の昼食には、職員が持ってきたゆずが揚げ出し豆腐の薬味に使われており、利用者が季節を感じながら食事を摂っていた。箸、湯飲み、茶碗が自分用に用意されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を 通じて確保できるよう、一人ひとりの状態 や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士が献立を立てている。食事以外でも毎日二回飲み物 お出ししている。又体調に応じて好みの飲みやすいものを 提供し十分な水分確保が出来るよう対応している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食 後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応 じた口腔ケアをしている	(自己評価) 自分で出来る方は見守り、義歯の方にはポリデント洗浄、 うがい等が困難な方には口腔ケア用スポンジブラシ使用す る等の対応行っている。	

	外部評価			次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43		○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人 ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活か して、トイレでの排泄や排泄の自立にむけ た支援を行っている	(自己評価) 一日の排泄チェック表に一人ひとり記入し排泄パターンの把握に努めている。定期誘導行いパターンにそっての声掛け対応行っている。 (外部評価) 各ユニットにトイレが2か所設置されており、車いすでも余裕のある広さである。職員は一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけ誘導で日中はトイレでの排泄を支援しているが、利用者の状態に合わせパットの使用も組み合わせている。職員はトイレでの転倒に注意を払い、自立に向けた支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物 の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じ た予防に取り組んでいる	(自己評価) 好みに応じて水分補給時に乳製品お出ししたり、食事やおやつにも食物繊維に考慮した物お出ししている。又体操や腹部マッサージをする等取り組んでいる。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて 入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日 や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じ た入浴の支援をしている	(自己評価) 日中のみの対応行っているが、午前や午後など特に決めず体調や気分に合わせて気持ちよく入浴して頂けるよう努めている。 (外部評価) 週に2~3回を基本としているが希望に応じいつでも入れるよう対応している。リフトの設置があり利用者の状態に合わせて安全に入浴できるよう支援している。入浴の苦手な利用者には声かけの工夫や、これからの時期はゆず湯にしたり、また同性介助に切り替えたりと無理強いせず、入浴が楽しめるよう努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に 応じて、休息したり、安心して気持ちよく 眠れるよう支援している	(自己評価) リクライニングベットを完備しているが、布団生活をされていた方にベットを使用せずに今までの生活スタイルを変えないように配慮、馴染の寝具家具等使用して頂いている。又各利用者の体調の変化に合わせ自室での休息や臥床促している。	

<u>、愛媛県あおそら</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作 用、用法や用量について理解しており、服 薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方された薬については薬箋を保存し用法、用量、副作用 の確認がいつでも出来るようにし、内服介助は名前、日付 の確認し各利用者に合った内服オブラート使用など対応 行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう に、一人ひとりの生活歴や力を活かした役 割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支 援をしている	(自己評価) 洗濯物畳や仕分けを出来る事役割として、して頂いている利用者がおられる。電子ピアノ弾いたり好きな時代劇を見られりと個々に応じた楽しみや喜びの時間が持てるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外 に出かけられるよう支援に努めている。ま た、普段は行けないような場所でも、本人 の希望を把握し、家族や地域の人々と協力 しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 気候や体調の状態により野外へ散歩に出かけたり地域の催しにも参加、行きつけの理髪店へ毛染めに行かれる方の支援や家族と墓参り行かれたりされている。又季節に応じた花見ドライブ等支援に努めている。 (外部評価) 事業所周辺の土手にはゲートボール場やテニスコートがあり、外気浴を楽しみながら散歩に出掛けたり、見学することもある。以前はゲートボールをする利用者もいたようである。家族の協力で馴染みの理髪店や墓参りに行くなど、利用者が少しでも外出できるよう努めている。来年度の外出支援で大洲のフラワーパークや富士山に出かける予定等を立ている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを 理解しており、一人ひとりの希望や力に応 じて、お金を所持したり使えるように支援 している	(自己評価) 現在、現金を所持されている方はおられないが、希望や個 人に応じて支援行えるように努めている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をした り、手紙のやり取りができるように支援を している	(自己評価) 本人の希望により電話の代行や郵便物の受け取り支援行っ ている。		

愛媛県あおぞら 平成29年2月14日

自己		項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52		○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食 堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって 不快や混乱をまねくような刺激(音、光、 色、広さ、温度など)がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心地 トノ過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 大きな窓が並び外の景色や自然の光、季節の花など季節感楽しんで頂き又ブラインドを調節し内部のプライバシーも守れるような配慮行っている。 (外部評価) 利用者に外の光を多く浴びてほしいと、代表者の意向でリビングの窓は大きく、多めに設計されている。対面キッチンからは利用者が見渡せ会話をしながら調理をしている。壁には行事毎の写真が貼られ、秋祭りの楽しいひと時を感じることができた。きれいな空気を取り入れるためにまめ	
53		よく過ごせるような工夫をしている ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	に換気したり、乾燥防止のため加湿器が置かれるなど、配慮されている。きちんと整理整頓され清掃も行き届いており、清潔感のある空間づくりに努めている。 (自己評価) 気の合う方同士一緒に過ごせるようソファーの配置自由に使用して頂いている。又車椅子やシルバーカー同士がぶつかり難くなるようテーブルの配置し広くリビング使用できるよう工夫行っている。	
			(自己評価) 居室には自宅で使用していたタンスやテレビ、位牌など置	
		○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族	かれ自宅と変わらないような空間になるよう工夫している。 (外部評価) エアコン、ベッド、一間の大きさのクローゼットが備え付	
54	20	と相談しながら、使い慣れたものや好みの ものを活かして、本人が居心地よく過ごせ るような工夫をしている	けとなっている。部屋には椅子やテーブル等の家具、テレビのほか、将棋、電子ピアノのようなこれまでの利用者の趣味が窺えるものなども持ち込まれ、居心地よく過ごしている。移動時に転倒しないよう動線に無駄な物を置かない配慮も見られ、安全に暮らせるような部屋づくりに努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり	(自己評価) 廊下トイレには手摺を設置段差もなくバリアフリーにて安全に生活でき、居室入口の名札は個々変わった飾りをしわ	
		建物内部は一人ひとりの「できること」や 「わかること」を活かして、安全かつでき るだけ自立した生活が送れるように工夫し ている	かりやすくしている。	
			15	愛媛県社会福祉協議会調査支援課

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3873600476
法人名	有限会社 ファーストステップ
事業所名	グループホームあおぞら
所在地	愛媛県喜多郡内子町平岡甲1243番地1
自己評価作成日	平成28 年11月18日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先

【評価機関概要(評価機関記入)】

62 な支援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

評価機関名 社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会				
所在地	松山市持田町三丁目8番15号			
訪問調査日	平成28年12月7日			

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・ホームは利用者にとって慣れ親しんだ山や川に囲まれ、河川や公園に隣接しており、四季の移り変わりが楽しめる自然豊かな環境の中に立っている。又ホーム内のリビングの壁二面は窓が連続で配置され、外の景色がパノラマ状に見る事が出来、自然の光もよく入る。・職員は月に一度各テーマを自分で決め勉強会を行い、自己啓発やサービスの質の向上に努めている。・一日が気持ちよく始まり気持ちよく終わる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は田園に囲まれ、自然を感じながら過ごせる場所に立地している。日当りのよいリビングからは、花火大会や大凧合戦の会場が間近に見え贅沢感が味わえる。勤続年数の長い職員が多く、代表や管理者、職員のコミュニケーションがとれ信頼関係が築かれている。職員は利用者に家庭的な環境のなか穏やかに楽しく過ごしてほしいと願い、家族と思って心から接し、利用者、職員とも笑顔が絶えない事業所となるよう取り組んでいる。開設12年を迎える事業所は、これから重度化が進むなか看取りも考慮しながら地域に根ざし、さらなるサービスの向上に努めていく方針である。

V.	Ⅴ. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します					
	項 目 取り組みの成果 ↓該当するものに○印			項目	_ ↓該	取り組みの成果 当する項目に〇印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 〇 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	0	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 がある (参考項目:18,38)	O 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	0	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	0	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした 表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	0	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 〇 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が2. 利用者の2/3くらいが3. 利用者の1/3くらいが4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	0	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟					

2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I.理念に基づく運営
- Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 平成28年11月18日
- Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が 介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を 修正することはありません。
- ※用語について
- ●家族等=家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。 (他に「家族」に限定する項目がある)
- ●運営者=事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の 役職者(経営者と同義)。
- ●職 員=「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- ●チーム=一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。 関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、 事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価! ステップ 外部評価でブラッシュアップ!! ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名	グループホームあおぞら
(ユニット名)	2F
記入者(管理者)	
氏 名	芦田 淳
評価完了日	平成28年11月18日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

		'伽及ひ外部評伽表			
評句	外部 評価	ロ	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
I.	理念	に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 所長と奥様が作られた理念をしっかりと心にとめ理念に基づいた介護が出来るように努めている。職員もその理念を踏まえての個人目標を立て実践に努めている。 (外部評価) 開設時に代表者夫婦が作成した理念を大切に継承しており、勤続年数の長い職員が多く、理念は浸透している。職員は利用者一人ひとりに寄り添いながら信頼関係を築き、穏やかに過ごしてもらえるよう支援に努めている。また別に個人目標を立てロッカーに貼り、意識向上に努めている。半年に一回目標の達成度の確認を行い、理念の共有を図りながら実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 今年は自治会区の班長になっている。回覧板や広報誌により地域の情報を把握し地域行事にも参加している。秋祭りには神輿や獅子舞など沢山の子供達がホームに来て交流がある。 (外部評価) 事業所は自治会に入会し地域行事に参加して顔見知りになるよう努めており、今年は2年任期で班長を任されている。事業所周辺は散歩コースになっており、散歩時には地域の方と挨拶が交わされている。毎年、合同運動会に参加したり、行事の度に和太鼓の演奏が事業所を訪れるなど交流の機会を楽しめている。また近隣住民が事業所を気にかけてくれており、ミカンや柿の差し入れがあったりとここ数年地域とのつながりが強くなっていると実感している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認 知症の人の理解や支援の方法を、地域の 人々に向けて活かしている	(自己評価) 町内のグループホーム共同主体で、愛媛県在宅介護研修センターの先生による講演会を開催し、多数の方に出席して頂いている。今後も広く地域に啓発しながら地域ネットワーク作りにおいても活かしていきたい。		

自己	外部 評価	価		************************************
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 町担当者、地域代表者、家族等のメンバーで約二カ月に一度開催し事業所の現状や行事、課題等を報告している。又講演会や運動会を合わせて行うなど多くの方に参加して頂けるよう努力している。 (外部評価) 自治会長、区長、民生委員、利用者家族等の参加を得て開催している。時には町議会員の出席もみられる。会議では利用者の生活状況や事業所の活動報告を行い、ヒヤリハットがあった場合も報告されている。研修やイベントを兼ねて行うこともある。また意見交換では地域の新たな情報が聞けるなどよい機会となっている。	会議の出席者や内容がやや固定化していることを代表者も懸念していることから、これから地域住民への参加呼びかけや職員の参加を考慮しながら、会議内容がさらに深まりサービスの向上につながるよう期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 町担当者は運営推進会議にも参加し、事業所の現状を理解している。又利用者の生活福祉の支援上の課題等について相談したり研修のお知らせなどがあり相互の協力関係築けている。介護相談員派遣事業の実地で訪問活動も予定されている。 (外部評価) 町職員は運営推進会議に参加し事業所の実情を把握できており、介護保険制度の改正時などは、わかりやすく説明してもらっている。更新や確認事項がある時はその都度担当職員と連携を取ったり、ヒヤリハットや事故報告が速やかに行われている。また介護相談員の訪問が年に2回あり、利用者の話しを聞いて職員に伝えてくれている。	
6		○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 毎月の勉強会でテーマとして取り上げ具体的にマットレスや鈴などの使用が適切であるかどうか等話し合い行い拘束のないケアに努めている。禁止対象となる具体的な行為を職員が使用するトイレに貼り常に意識して介助ができるようにしている。 (外部評価) 職員は身体拘束の弊害について理解し、拘束をしないケアに努めている。年1回、内部研修のテーマとして取り上げ意識を高めている。ベッドから転落の危険がある利用者には布団に切り替えたりして、いかなる場合にも拘束はあってはならないと代表者は考え指導している。言葉による拘束にも留意し、気づいた時にはその都度注意をし合うようにして利用者の尊厳を損なわないよう努めている。	

_			<u> </u>	
自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業 所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会を行い具体的に虐待について知識を高められるよう 話し合い行っている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や 成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、それら を活用できるよう支援している	(自己評価) 勉強会の中で話し合い活用できるように理解に努めてい る。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用 者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な 説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約書を交わす際には、利用者や家族と書面を基に時間を かけて十分納得して頂けるよう説明に心掛けている。	
100	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職 員並びに外部者へ表せる機会を設け、それ らを運営に反映させている	(自己評価) 事業所に対する意見や要望は意見箱を玄関に設置し、運営推進会議を通じて意見や思いを表せる場を設けている。又家族来訪時はお茶をお出しし気軽に会話しながら会話の中から要望を聞き取れるよう心掛けている。 (外部評価) 運営推進会議や面会時に意見や要望を聞いたり、遠方の家族にはイベント時の写真を郵送し、事業所の内容や利用者の状態を添えている。写真を見て喜ばれ、お礼の電話があることもある。雰囲気を察して代表者が、利用者と家族が直接電話で話せるよう配慮することもある。現在、事業所便りを検討中である。	

<u>愛媛県あおぞら</u> 平成29年2月14日

		り <u>あてら</u>	T	<u> </u>
自己 評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
		○運営に関する職員意見の反映	(自己評価) 職員は日々の支援の中で気づいた事や思いをリーダーに話管理者や代表者に伝えている。代表者や管理者は出された要望等に必ず返答行っている。年二回人事考課を行い、代表者は職員一人ひとりの意見を聞く機会を設けている。	
11	7	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(外部評価) 開設以来の職員が多数在籍しており働きやすい環境がうかがえる。職員は日常的に気づきや意見をミーティング等で提案し話し合い、1人1発言を徹底しているなか、前向きな発言が多い。希望休を取るなど現在はモチベーションを上げられるよう配慮し、年2回代表者が職員一人ひとりの意見を聞く機会を設けている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って 働けるよう職場環境・条件の整備に努めて いる	(自己評価) 年二回(夏・冬)に人事考課を行い、職員と面談をして、 自己評価、上司評価を行い、昇給、賞与を決めている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケア の実際と力量を把握し、法人内外の研修を 受ける機会の確保や、働きながらトレーニ ングしていくことを進めている	(自己評価) 職員の知識、経験等を考慮して、レベルにあった研修に参加している。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流す る機会をつくり、ネットワークづくりや勉 強会、相互訪問等の活動を通じて、サービ スの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 町内のグループホーム連絡会にて月一回の管理者会を実地。又町内のグループホーム合同の運動会や講演会、職員勉強会を実地し、サービスの質の向上にも取り組んでいる。	
I	Ⅰ.安	心と信頼に向けた関係づくりと支援	V.4. ¬ == (r.)	
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が 困っていること、不安なこと、要望等に耳 を傾けながら、本人の安心を確保するため の関係づくりに努めている	(自己評価) 事前調査で書類を確認し、訪問本人の言葉に耳を傾けるようにしている。不安や要望等、言葉の端々からも感じ取り、納得のいく話し合いが出来るよう心掛けている。	

<u> 27</u>	<u> 久木(</u>	<u> </u>		<u> </u>
自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等 が困っていること、不安なこと、要望等に 耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 相談を受けた時から、家族の困っておられる事、不安な事要望等に耳を傾け、まず必要としている支援を見極めながら話し合い、受け止めるよう心掛けている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と 家族等が「その時」まず必要としている支 援を見極め、他のサービス利用も含めた対 応に努めている	(自己評価) 相談を受けた時から、本人、家族と十分に話し合い、本人が自宅での暮らしを希望している場合は、在宅でのケアサービスの調整をしての暮らしの可能性等、家族やケアマネジャー等と話し合うようにしている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場にお かず、暮らしを共にする者同士の関係を築 いている	(自己評価) 出来るだけ今までの生活と同じように生活して頂けるよう に支援し、共に暮らす者同士として食事をしたり、洗濯物 を一緒に畳んだりと声をかけ合いながら過ごしている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場にお かず、本人と家族の絆を大切にしながら、 共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時には近況報告や体調報告し家族からの要望についても話して頂いている。ピアノの先生をされていた利用者様にはピアノを弾いて頂き面会に来られた奥様や友人の方職員も一緒になって歌う事もあった。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人 や場所との関係が途切れないよう、支援に 努めている	(自己評価) 家族と一緒に馴染みの喫茶店へ行かれたり食事に行かれたり外泊されることもある。馴染の人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 (外部評価) 友人や知人の訪問があったり、手紙が届くこともある。家族の支援で馴染みの喫茶店に行く利用者もいる。入居前と同じようにプランターでの野菜作りでは肥料のアドバイスをもらったり、将棋やピアノの好きな利用者には馴染みが継続できるよう支援している。	

<u> </u>	<u>友宗()</u>	あおそら		<u> </u>
自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが 孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え 合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士の関係を把握し性格や気の合う方との席の配慮 をし楽しく穏やかに生活して頂けるよう努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これ までの関係性を大切にしながら、必要に応 じて本人・家族の経過をフォローし、相談 や支援に努めている	(自己評価) 終了後も訪問して頂けるよう声掛けをし、継続的な関わり が保てるよう心掛けている。又いつでも出来る限り相談に 乗りアドバイスが出来るよう心掛けている。	
1	I. そ	の人らしい暮らしを続けるためのケアマネジ	メント	
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向 の把握に努めている。困難な場合は、本人 本位に検討している	(自己評価) 利用者と同じ目線で接し思いや暮らしの希望を聞く様に努めている。家族とも相談し意向に添えるよう心掛けている。会話の内容は記録や連絡ノートで職員で情報を共有している。 (外部評価) 利用者との日常の関わりを大切にして思いを聞き取るよう努めている。帰宅願望のある利用者には職員が寄り添い一緒に外に出たり、家族に連絡して会いに来てもらったりしている。要望でご飯の硬さの調節を行うこともある。言葉に表せない利用者には表情を見て感情の動きを知るよう努めている。利用者と1対1になる入浴時などに、不満など普段言えないことを聞ける時がある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、 生活環境、これまでのサービス利用の経過 等の把握に努めている	(自己評価) 事前調査や資料にて生活歴等把握に努めている。家族との 関係話し合いなど行った場合にも職員同士情報を共有して いる。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、 有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎日のバイタルチェック、様子観察を行いコミュニケーションをとり心身状態を把握している。話された会話の内容も本人の言葉そのまま記録に残し職員が情報を共有している又一日をどう過ごしたいかを尊重し思いを汲み取っている。	

<u>愛媛県あおぞら</u> 平成29年2月14日

	受媛県あおぞら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
		○チームでつくる介護計画とモニタリング本人がより良く暮らすための課題とケアの	(自己評価) 利用者一人ひとりに職員担当者を決め毎月モニタリングを行っている。職員会議において他の職員からも情報収集や気付きを話し合い意見交換行いながら計画作成担当者に報告見直しを行いながら介護計画を作成している。		
26	10	あり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(外部評価) 家族面会時や電話で意向を確認し、本人と家族の要望を取り入れながら、職員で話し合って介護計画を作成している。ピアノの好きな利用者には、「健康に過ごしたい」の計画の支援内容に「ピアノ演奏」が盛り込まれ毎日の日課になるなど、要望を反映した介護計画を確認することができる。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに活 かしている	(自己評価) 記録はその時に関わった職員が詳しく記入している。利用者が言われた言葉をそのまま記録に残したり徳に重要事項のは赤色での記入したりと内容によって色分けし注意しやすくしている。担当者はモニタリング行い実践や介護計画の見直しにいかしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 本人のかかりつけの病院、希望する買い物の同行など支援 している。居室の片付けや衣替えなど利用者一人ひとりに 合わせて対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源 を把握し、本人が心身の力を発揮しながら 安全で豊かな暮らしを楽しむことができる よう支援している	(自己評価) 一人ひとりの暮らしを支える地域資源を把握し、それに対 応していける支援が出来るよう心掛けている。		

	_	<u> りんてり</u>	1	十成29年2月14日
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30		○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 本人や家族の希望するかかりつけ医の受診行っている。協力医療機関の医師の往診が月に二回あり緊急時には夜間でも対応してもらっている。 (外部評価) 協力医をかかりつけ医とする利用者が多い。定期的な往診があり、異常時には速やかに受診できるよう安心した医療連携が取れている。その他にも歯科、眼科、皮膚科の往診ができる体制が整っている。総合病院の受診は職員が同行し家族には適切な報告がされている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 職員間の申し送り時状態の変化を伝え合ったりいつもと違う気づきには看護師に相談、報告しながら健康管理を行い受診の支援等行っている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院時は家族と相談しながら、本人に関する情報の提供を行っている。消耗品の補充や洗濯物の管理等行いながら定期的に面会し、状態を把握し早期退院に向けて医療機関と話し合いおこなっている。	
333		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 「重度化した場合における対応に係る指針、看取りにおける指針」を作成しており本人、家族との話し合い説明を行っている。今まで看取りの経験はないが勉強会で取り上げ今後支援が出来るように取り組んでいる。 (外部評価) 看取り指針を定め、状態に応じ本人や家族の意向を確認しながら事業所ができること、できないことを明確にしながら医師を交え説明がされ、意向に沿うよう努めている。今後さらに勉強会を重ね看取りに取り組む姿勢であり、重度化を踏まえ職員の意識も高まっている。	

	めおてら	•	<u> </u>
己 外部価 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全て の職員は応急手当や初期対応の訓練を定期 的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変や事故発生時に備え適切な対応が行えるよう勉強会や 講習に参加している。	
5 13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問 おず利用者が避難できる方法を全職員が身 につけるとともに、地域との協力体制を築 いている	(自己評価) 消防署立ち合いのもと昼間や夜間を想定し避難訓練を実施している。又水や食料の備品を二階に保管し期限の把握定期的に交換している。 (外部評価) 年2回、うち1回は消防署立ち合いのもと日中と夜間想定の避難訓練を行っている。地震体験車の貸し出しを依頼し、実際に体感している。また2階からの避難方法については職員がモデルとなり、毛布を使用して階下に降りる等実践的な訓練を行うほか、水害も懸念されることから2階への避難訓練も行っている。備蓄品は3日分の用意はしているが増量に向けた検討を行う予定である。	
W. 4	- その人らしい暮らしを続けるための日々の支持		L
6 14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライ バシーを損ねない言葉かけや対応をしてい る	(自己評価) 利用者一人ひとり尊重し自分の家族のように優しく接することが出来るよう心掛けている。排泄の介助などはプライバシーを損ねる事がないよう丁寧にゆっくりとした言葉使いに配慮している。 (外部評価) 利用者の尊厳を損なうことがないよう特に言葉づかいには気をつけている。職員は自分の親だったらと考え優しい気持ちで利用者に接している。トイレや入浴時には不快な思いをしないよう羞恥心への配慮を徹底しており、内部研修では接遇マナーの研修を行うことで職員の意識向上につなげている。	
7	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表した り、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 自分のペースで生活が出来るよう思いを汲み取りながら支援が出来るよう努めている。	

<u> </u>	タホリ	りんてっ		平成29年2月14日
自己 評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではな く、一人ひとりのペースを大切にし、その 日をどのように過ごしたいか、希望にそっ て支援している	(自己評価) 起床や臥床時間については出来るだけ自分のペースで身支度が出来るように支援している。一人ひとりが自由にのびのびと過ごしていけるよう心掛けている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができ るように支援している	(自己評価) 自分で洋服を選んで頂いたり端正は髭剃り女性はクリーム を塗ったりとその人一人ひとりに合わせた支援行ってい る。二カ月に一度は出張理容院の理容を支援している。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者と職 員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 準備や片付けは難しいがコップをキッチンまで運んで頂いたりすることがある。食事は職員同テーブルにつき介助が必要な方には介助会話しながら一緒に頂いている。又行事イベントでは一階二階一緒に食事する事もある。 (外部評価) 食事前には口腔体操を行い、唾液の分泌をよくしたり、口の動きをよくして食事がスムーズにできるよう支援している。誕生日にはリクエストメニューにしたり、利用者が好まれる混ぜご飯を多く取り入れたり、状態に合わせ形状や調理法を工夫するなど食事が楽しめるよう配慮されている。調査当日の昼食には、職員が持ってきたゆずが揚げ出し豆腐の薬味に使われており、利用者が季節を感じながら食事を摂っていた。箸、湯飲み、茶碗が自分用に用意されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を 通じて確保できるよう、一人ひとりの状態 や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎日の献立は栄養士が作為している。一日の食事量、水分量も一目でわかるようチェック表を活用している。摂取状態によって水分にはトロミ剤使用したり、刻み等行い一人ひとりにあった形態で食べて頂いている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食 後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応 じた口腔ケアをしている	(自己評価) 歯磨きやうがいの見守り、義歯の方は出来るだけポリデント洗浄している。介助が必要な方にはスポンジブラシ使用してケアの支援をしている。	

<u> 22 7</u>	<u> </u>	りのてら		十八乙9十乙月14日
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人 ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活か して、トイレでの排泄や排泄の自立にむけ た支援を行っている	(自己評価) 排泄チェック表を活用し一人ひとりの排泄パターンのはあに努めている。トイレに行ける方は出来る限り自分で出来る事を見守り支援行っている。オムツやパットも一人ひとりに合ったものを選択し夜は安眠できるような工夫している。 (外部評価) 各ユニットにトイレが2か所設置されており、車いすでも余裕のある広さである。職員は一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけ誘導で日中はトイレでの排泄を支援しているが、利用者の状態に合わせパットの使用も組み合わせている。職員はトイレでの転倒に注意を払い、自立に向けた支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物 の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じ た予防に取り組んでいる	(自己評価) 出来る限り自然排泄が出来るよう牛乳など飲んで頂いたり 食物繊維を多く摂取するなど食事やおやつにも工夫行って いる。おやつ前にはTV体操やラジオ体操をして体を動か している。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて 入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日 や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じ た入浴の支援をしている	(自己評価) 一人ひとり個別で入浴できるよう支援している。介助が必要な方には備え付けのリフト使用し安全に入浴している。 湯の温度や入浴時間等本人の希望に沿った支援をしている。 (外部評価) 週に2~3回を基本としているが希望に応じいつでも入れるよう対応している。リフトの設置があり利用者の状態に合わせて安全に入浴できるよう支援している。入浴の苦手な利用者には声かけの工夫や、これからの時期はゆず湯にしたり、また同性介助に切り替えたりと無理強いせず、入浴が楽しめるよう努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に 応じて、休息したり、安心して気持ちよく 眠れるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりに合わせて日中横になって休まれる方への配慮 をし、心地よく休んで頂けるよう努めている。	

<u> 夕7</u>	タホ(<u> </u>		平成29年2月14日
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作 用、用法や用量について理解しており、服 薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとりの服薬について用法、用量、副作用など理解して介助行っている。いつでも確認が出来るようファイルに薬箋をとじている。毎回必ず内服時には名前や日付の確認をしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう に、一人ひとりの生活歴や力を活かした役 割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支 援をしている	(自己評価) 女性の方には洗濯畳み、音楽の先生されていた方には行事などでぴあのを弾いてもらったり、ホームでゴミ入れにするごみ箱作りを新聞紙で作って頂いたり一人ひとりに合った役割をして頂きたのしんで頂いている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外 に出かけられるよう支援に努めている。ま た、普段は行けないような場所でも、本人 の希望を把握し、家族や地域の人々と協力 しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気のいい日にはホームの周りを散歩したり行事等には車に乗りドライブしたり支援行っている。家族と喫茶店に出かけたり外食したり外泊される方もおられる。 (外部評価) 事業所周辺の土手にはゲートボール場やテニスコートがあり、外気浴を楽しみながら散歩に出掛けたり、見学することもある。以前はゲートボールをする利用者もいたようである。家族の協力で馴染みの理髪店や墓参りに行くなど、利用者が少しでも外出できるよう努めている。来年度の外出支援で大洲のフラワーパークや富士山に出かける予定等を立てている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを 理解しており、一人ひとりの希望や力に応 じて、お金を所持したり使えるように支援 している	(自己評価) 本人や家族としっかり相談し事務所に預かったり所持して 頂いたり一人ひとりに合った支援を行っている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をした り、手紙のやり取りができるように支援を している	(自己評価) 毎週日曜日に娘さんから電話があり、こちらの天気やホームでの出来事を楽しそうに話されている。友人の方に電話をしたいと希望される方には職員が代行して電話し忘れないように日付や内容を用紙に記録してお渡ししている。	

	外部評価	項目	実践状況	************************************
52		○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食 堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって 不快や混乱をまねくような刺激(音、光、 色、広さ、温度など)がないように配慮 し、生活がなるを変が感を大きなし、生活がなるとなる。	(自己評価) 毎日掃除をし清潔に生活して頂いている。リビングは自然の光もよく入り窓も大きく眺めもよい。行きかう車を眺めたり山から下るハンググラダーも見えたりする光の調整はブラインドにて行っている。ピアノをリビングに置きいつでも皆で音楽が楽しめる。壁にはイベントの写真を貼り楽しんで頂いている。 (外部評価) 利用者に外の光を多く浴びてほしいと、代表者の意向でリビングの窓は大きく、多めに設計されている。対面キッチンからは利用者が見渡せ会話をしながら調理をしている。壁には行事毎の写真が貼られ、秋祭りの楽しいひと時を感	
53		よく過ごせるような工夫をしている ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるよ	壁には行事毎の与真が貼られ、秋奈りの栄しいひと時を感じることができた。きれいな空気を取り入れるためにまめに換気したり、乾燥防止のため加湿器が置かれるなど、配慮されている。きちんと整理整頓され清掃も行き届いており、清潔感のある空間づくりに努めている。 (自己評価) リビングを出来る限り広く使用できるよう物の配置に工夫し車椅子同士が接触しないよう配慮している。気の合う方とテーブルを一緒にしたり軽作業をされる方には作業しやすいようにテーブルの配置にも工夫している。	
		うな居場所の工夫をしている		AREA CORPORATION DE COMPANION DE
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族 と相談しながら、使い慣れたものや好みの ものを活かして、本人が居心地よく過ごせ るような工夫をしている	(自己評価) 居室には使い慣れたタンスやテレビを持ち込んで頂き、畳を置かれている部屋もある。ヌイグルミや家族との思いでの写真など飾り心地よく過ごせる居室の工夫に努めている。 (外部評価) エアコン、ベッド、一間の大きさのクローゼットが備え付けとなっている。部屋には椅子やテーブル等の家具、テレビのほか、将棋、電子ピアノのようなこれまでの利用者の趣味が窺えるものなども持ち込まれ、居心地よく過ごしている。移動時に転倒しないよう動線に無駄な物を置かない配慮も見られ、安全に暮らせるような部屋づくりに努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や 「わかること」を活かして、安全かつでき るだけ自立した生活が送れるように工夫し ている	(自己評価) 手摺や居室やトイレの扉など安全に使用して頂けるよう工夫している。自分の居室には目印をつけ他利用者との区別もしやすくわかりやすい工夫を行っている。	平坪目社会污礼拉莞会和木士坪部